

「分類」内訳	
①感染症対策	②市民生活支援
③事業者支援	④新しい生活様式への対応
⑤地域産業振興	

No.	事業名	分類	事業の目的	事業始期	事業終期	事業費総額	交付金充当額	事業実績	事業の効果
1	PCR検査センター等従事者の感染予防対策事業	①	市医師会が開設するPCR検査センターで従事する医師や看護師等が使用する使い捨てガウンやグローブ等の感染防止用品を配布する	R2.6	R3.3	1,470,421	1,470,421	<ul style="list-style-type: none"> ・N95マスク527枚 17,765円 ・グローブ200枚 4,400円 ・ビニール製カーテン1枚 7,476円 ・ガウン300枚 1,320,000円 ・ゴーグル50個 99,000円 ・クロス1袋 880円 ・キャップ100枚 20,900円 	同センターでのPCR検査受診者数178人
2	病院内保育所支援事業	③	市内総合病院内に学童の居場所を確保することで、臨時休校等の際も医療従事者等が安心して働ける環境を確保する	R2.4	R3.3	419,728	419,728	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内保育施設の環境整備(エアコン設置、冷蔵庫、扇風機の購入経費) 308,228円 ・同保育施設の人件費補助 45,000円 ・同保育施設の利用料補助(8児童分) 66,500円 	病院内保育所の環境整備や人件費分を補助するとともに、利用者負担額の補助を行うことで、医療従事者が安心して働ける環境が確保できた
3	搬送用アイソレーター整備事業	①	搬送用アイソレーター(陰圧装置付隔離型搬送資機材)を配備し、感染症患者搬送時の救急隊員の安全を確保する	R2.6	R3.3	1,097,250	1,097,250	搬送用アイソレーター装置1式 1,097,250円	令和4年2月末までに30回の使用実績があり、新型コロナウイルス感染症陽性者を救急搬送する際の隊員の安全が確保された
4	社会福祉施設等感染症防止対策物品配布事業	①	市内介護サービス事業所や学童保育室、保育所、障害福祉事業所等にマスクやアルコール消毒液等を配布し、感染拡大防止を図る	R2.6	R4.3	9,350,372	9,350,372	<ul style="list-style-type: none"> ・不織布マスク72,850枚 2,290,354円 ・アルコール手指消毒液6,039ℓ 2,796,431円 ・アルコール手指消毒液スプレー容器 615本 107,435円 ・アルコール手指消毒液12,480ℓ 4,156,152円 	<p>各施設に、①不織布マスク、②アルコール手指消毒液、③アルコール手指消毒液スプレー容器を配布することで、施設における感染拡大防止に寄与した</p> <p>令和2年度配布実績 ・障害者福祉関係施設46か所に、①19,150枚②1,062ℓ③86本 ・高齢者福祉関係136か所に、①33,000枚②3,873ℓ③437本 ・児童福祉施設等46か所に、①20,700枚②1,104ℓ③92本</p> <p>令和3年度配布実績 ・障害者福祉関係44か所に、②2,030ℓ ・高齢者福祉関係136か所に、②8,040ℓ ・児童福祉施設等51か所に、②2,410ℓ</p>
5・6	防災活動支援事業 (R2当初予算分・R2補正予算分)	①	災害時の避難所に、可動間仕切りや消毒液、マスク等を配備することで、避難所における感染拡大防止を図る	R2.4	R3.3	4,214,991	4,214,991	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク(1箱50枚入り)10,050枚 663,300円 ・プライベートルーム8張 474,760円 ・非接触型温度計52本 486,200円 ・マスク(1箱40枚入り)16,250枚 875,875円 ・消毒液及び噴霧器208本 1,430,000円 ・ニトリル手袋312箱 284,856円 	市内の全指定避難所(52施設)に避難所運営に係る感染症対策用品を整備

No.	事業名	分類	事業の目的	事業始期	事業終期	事業費総額	交付金充当額	事業実績	事業の効果
7	公共施設感染症予防対策用品等備蓄事業	①	市役所本庁舎をはじめとする市内公共施設において使用する消毒液など、様々な消耗品や備品を購入することで、感染拡大防止を図る	R2.6	R3.3	12,685,253	12,685,253	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリエチレン手袋1,700双 20,570円 ・ゴム手袋2,230双 338,514円 ・ニトリル手袋2,710双 227,436円 ・マスク(不織布)29,400枚 1,002,540円 ・マスク(医療用N95)500枚 121,000円 ・ガウン1050着 693,000円 ・アルコール手指消毒液4,060L 3,120,611円 ・殺菌消毒剤(ピューラックス)18L 9,570円 ・消毒用エタノール60L 62,700円 ・感染症廃棄物入れ(ビニール袋)2,140枚 22,363円 ・ゴーグル250個 137,500円 ・フェイスシールド930個 153,450円 ・シューズカバー1,020枚 336,600円 ・ヘアキャップ800着 14,520円 ・キッチンタオル15,000枚 18,513円 ・キッチンペーパー6ロール2個 556円 ・医療ガーゼ 30cm×1m 6,100枚 389,180円 ・ハンドソープ8L 2,792円 ・感染防止着(上衣・下衣)600着 848,100円 ・トイレ便座クリーナー用ディスペンサー35個 130,900円 ・トイレ便座クリーナー補充液120L 132,000円 ・飛沫防止アクリルパーテーション(消耗品)198枚 1,412,488円 ・飛沫防止アクリルパーテーション(備品)63枚 1,316,810円 ・消毒液フットディスペンサー103台 679,800円 ・ウイルスカバー3式 29,640円 ・非接触型体温計85個 916,300円 ・中性電解水生成機 1台 547,800円 	市役所本庁舎をはじめとする市の公共施設において必要となる各種感染対策用消耗品・備品を20品目購入し、全庁宛てに必要な数量を備蓄・配布することを通じて、効率的な事務執行を行いつつ、感染拡大防止に寄与することができた
8	消防署感染症対策対策強化事業	①	本署及び各分署の仮眠室に簡易パーテーションを設置し、署内での感染拡大防止を図る	R2.6	R2.7	412,500	412,500	簡易パーテーション50台(本署、西分署、南分署、北分署の仮眠室分) 412,500円	本署及び各分署の仮眠室におけるに隊員間の感染防止が図られた
9	図書館感染症対策強化事業	①	図書館内に利用者が自ら利用できる図書の消毒器を設置し、貸出図書等を介した感染拡大防止を図る	R2.6	R2.10	1,162,700	1,162,700	<ul style="list-style-type: none"> ・図書消毒機1台 1,034,000円 ・消毒機消耗品消臭抗菌剤4本 13,200円 ・消毒機消耗品紫外線ランプ30本 115,500円 	令和4年2月末日までに消毒機利用回数 21,990回の利用があり、図書を通じた感染拡大が防止できた
10	行田市小規模事業者緊急支援事業	③	新型コロナウイルス感染症により経営上の影響を受けている市内小規模事業者や個人事業主に対して、事業継続に向けた支援金を交付する	R2.6	R2.10	192,381,392	192,381,392	<ul style="list-style-type: none"> ・補助費 190,900,000円(100,000円×1,909件) ・事務費 1,481,392円(郵送料・振込手数料等) 	市内中小企業者1,909社に対する支援金の給付により、コロナ禍における事業の継続に寄与した。
11	ひとり親家庭等生活支援臨時給付事業	②	収入減少が見込まれるひとり親家庭(児童扶養手当受給家庭)及び就学援助受給家庭の生活支援並びに市内商店支援として、市内商店共通商品券20,000円を配布する	R2.5	R3.3	24,723,860	24,723,860	<ul style="list-style-type: none"> ・補助費 24,300,000円(20,000円×1,215人) ・事務費 423,860円(郵送料・封筒印刷代) 	児童扶養手当受給者及び就学援助受給世帯771世帯(児童数1215人)に対して支援した。交付後のアンケート調査において、受給者の95%以上が、「家計の一助となった」と回答した。
12	家計急変世帯就学援助事業	②	感染拡大の影響を受け家計が急変した、小中学校に在籍する児童生徒のいる世帯に学用品費などを支援する	R2.6	R3.3	208,874	208,874	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生 33,304円(学用品扶助4名) ・中学生 175,570円(学用品扶助3名、新入学用品2名) 	就学費援助の弾力的認定を行うことで、新型コロナウイルス感染症により、家計が急変した世帯に対し支援することができた。
13	家計急変世帯高校生等奨学資金給付事業	②	感染拡大の影響を受け家計が急変した、高等学校等に在籍する生徒のいる世帯に、月額1万円を支給する	R2.6	R3.3	710,000	710,000	<ul style="list-style-type: none"> ・10か月分支給 3人 ・9か月分支給 3人 ・7か月分支給 2人 	要件に該当する8人に奨学資金を支給することで、新型コロナウイルス感染症により、家計が急変した世帯に対し支援することができた。
14	臨時特別出産祝給付金給付事業	②	特別定額給付金の対象とならない令和2年4月28日以降(令和3年3月31日まで)に生まれた新生児を養育する世帯に対して、生活支援として10万円を給付する	R2.4	R3.5	34,137,510	34,137,510	<ul style="list-style-type: none"> ・補助費 34,100,000円(100,000円×341世帯) ・事務費 37,510円(振込手数料) 	対象となる新生児が誕生した全世帯に対し給付し、申請時のアンケート調査において、90%の方から「子育てに伴う経済的負担の一助になる。」との回答を得られた。
15	未就学児養育世帯支援臨時給付金給付事業	②	感染症禍で家庭での教育や保育の負担増加が見込まれる未就学児を持つ世帯に対して、児童1人あたり2万円を給付する	R2.7	R3.3	58,912,820	58,912,820	<ul style="list-style-type: none"> ・補助費 57,680,000円(10,000円×2,884人) ・事務費 1,232,820円(郵送料・振込手数料等) 	未就学児を養育する世帯2,232世帯(児童数2,884人)に対して支援した。(支給率100%)

No.	事業名	分類	事業の目的	事業始期	事業終期	事業費総額	交付金充当額	事業実績	事業の効果
16	市内花き農家応援フラワーアート事業	③	古代蓮の里に市内花き農家の栽培した花を使ったフラワーアートを展開し、感染症拡大による花卉需要激減の影響を受けている市内花卉事業者の支援及び終息後の地域の魅力向上を図る	R2.7	R3.3	3,465,593	3,465,593	・花苗代 1,691,360円 ・デザイン作成委託料 99,000円 ・測量業務委託料 275,000円 ・出役料(1,000円×50時間) 50,000円 ・肥料、農薬、プランター等の資材及び消耗品 1,350,233円	フラワーアートに使用した花卉は、市内花き農家より花苗を購入し約21,000鉢を使用したことで、需要が低迷していた中で花卉農家の供給支援に繋げることができた。また、公開した令和2年10月23日から令和3年4月7日までの間に、古代蓮会館の入場者は約1万3千人に達し、地域の魅力向上にも繋がった。
17	プレミアム付地域振興券発行事業	⑤	行田市商店会連合会と連携し、30%分のプレミアム付地域振興券を発行することで、感染症で落ち込んだ市内飲食店、商店の支援と地域経済振興を図る	R2.7	R3.3	65,241,115	65,241,115	・補助費 59,241,115円(プレミアム分) ・事務費 6,000,000円(商品券印刷代、チラシ印刷代等)	20,000セットを販売し、参加店舗345店の約7割に当たる254店舗で利用された。参加店舗へのアンケート調査において、約8割が「売上増」「来店者数増」と回答した。
18	学校再編対象校内ネットワーク整備事業	④	令和4年度及び5年度に再編を予定している市内小学校5校において、既存の無線LAN・ネットワーク機器を最新の規格に入れ替えることにより、緊急時における学校からの遠隔学習機能の強化を図る	R2.6	R2.12	3,355,000	3,355,000	北河原小学校、荒木小学校、須加小学校 星宮小学校、太田東小学校における既存ネットワーク機器の更新	新型コロナウイルス感染症により前倒しとなったGIGAスクール構想に対応するため、令和4年度及び令和5年度に学校再編を予定している市内小学校について、ネットワーク機器の更新を行った。
19	学校臨時休業に伴う学習等支援事業	②	小・中学校の臨時休業に伴い不足する授業日数を確保するため、夏季休業日を14日間短縮し授業を実施する	R2.6	R3.3	5,577,945	5,577,945	夏季休業日を14日間短縮したことに伴う、学力向上支援教員、ALT等の会計年度任用職員人件費の増分。(報酬5,441,277円、費用弁償136,668円)	小学校16校、中学校8校に学力向上支援教員(41人)、ALT(15人)、さわやか相談員(16人)、特別支援教育支援員(28人)を配置し、児童生徒の学習機会を確保することができた。
20	売上が減少した小規模事業者等への家賃支援給付金給付事業	③	売上が前年比一定程度減少した市内小規模事業者及び個人事業主に、地代・家賃負担軽減を目的とした、支援金10万円を給付する	R2.7	R3.3	17,927,712	17,927,712	・補助費 17,890,086円(200件) ・事務費 37,626円(郵送料・振込手数料等)	貸店舗で営業しており、コロナ禍の影響により売上が減少した200事業者に、家賃負担軽減のための支援ができた。
21	小中学校の給食費無償化事業	②	市立小中学校の令和2年度中における給食費を無料とすることで、学校臨時休業等による家計負担増の軽減を図る	R2.4	R3.3	219,119,714	219,119,714	給食費無償化 ・小学校 135,072,794円(3,577人分) ・中学校 84,046,920円(1,915人分)	小中学生の令和2年度分給食費を無償化することで、学校臨時休業等による家計負担増の軽減を図ることができた。
22	水道事業会計への繰出(水道料金基本料金の無料化)	②	水道料金基本料金を4か月間無料とすることで、感染症禍で負担が増加している市民生活や企業活動を支援する	R2.6	R2.9	194,572,748	194,572,748	・水道料金基本料金無料 193,434,300円 ・水道料金システム改修費用等 1,138,448円	令和2年6月～9月検針分で計69,845件の水道料金基本料金を無料とし、市民や企業の負担軽減を図ることができた。
23	中学3年生向け「行田版フォローアップ教室」事業	②	長期間の学校臨時休業により、受験への不安を抱えている中学3年生を対象に、土曜日にフォローアップ教室を実施し、基礎学力の定着を図る	R2.7	R3.2	3,657,447	3,657,447	・指導者謝金3,640,000円(2,500円×1,456時間) ・会計年度任用職員報酬16,533円(1,503円×11時間) ・費用弁償914円(257円×2日、400円×1日)	中学校8校において、夏期6回、冬期2～6回の補習学習を実施。夏期延べ1,039人、冬期延べ599人の生徒の参加があり、受験に対する不安の払拭と基礎学力の定着を図ることができた。
24	食物アレルギー対応補助金支給事業	②	市内の市立小中学校に在籍して食物アレルギーにより学校給食が食べられず、恒常的に弁当を持参している児童生徒の保護者を対象に給食費無償化と同等の補助金を交付する	R2.4	R3.3	399,108	399,108	1食あたりの給食費相当額×弁当持参回数 小学校 235円×1,360回 319,600円 中学校 278円×286回 79,508円	小学校 9名 中学校 2名 合計11名の恒常的に弁当を持参している児童生徒の保護者を対象に給食費無償化と同等の補助金を交付した。
25	図書館感染症対策強化事業	①	図書館学習室等への飛沫感染対策パーテーション設置や、読み聞かせイベント用ハンズフリー拡声器等を導入し、公共施設における感染拡大防止を図る	R2.9	R3.3	261,052	261,052	・半透明アクリル製仕切り板20枚 189,860円 ・ポータブル拡声器3台 59,004円 ・マウスシールド16個 3,168円 ・フロアスタンド2個+1枚 9,020円	学習室は、令和4年2月末日までに計6,685人の利用があった。また、おはなし会等のイベントは、計112回開催し、1,202人の参加者があり、コロナ禍でも安全にイベントが実施できた。
26	図書館貸出郵送・配本事業	④	図書館の図書を郵送や自宅近くの公民館に配送するサービスを実施し、在宅時間の充実と外出抑制につなげる	R2.11	R3.3	250,250	250,250	・ライブラリーカート 31,680円 ・袋2束 1,760円 ・交換便バック32枚 134,640円 ・バスケット2個 1,980円 ・コンテナ10台 36,630円 ・メールバック16個 43,560円	令和4年2月末日までに郵送貸出は3件。配本事業については、利用者13名、貸出件数は67件、資料貸出冊数は97冊の実績があり、外出抑制につながった。
27	防災活動支援事業	①	避難所に間仕切りを導入し、避難所における3密接環境を回避して感染拡大防止を図る	R2.9	R3.3	12,210,000	12,210,000	・ファミリールーム500張 9,900,000円 ・プライベートルーム40張 2,310,000円	全指定避難所(52施設)に避難所用間仕切りを整備した。
28	新型コロナウイルス感染防止対策導入事業者支援補助金	③	店舗等における感染拡大防止対策に取り組んでいる中小企業者や個人事業者に対して、補助率2/3、上限100,000円の補助金を支給する	R2.10	R3.3	18,818,995	8,818,995	・補助費 18,766,000円(284件) ・事務費 52,995円(郵送料・振込手数料等) (事業費のうち10,000千円は市内事業者からの寄付金を充当)	新型コロナウイルス感染防止対策に係る経費を支援することで、市内の284事業者が「新しい生活様式」に対応した環境を整備することができた。
29	学校ICT環境整備事業	④	GIGAスクール構想の前倒しに合わせ、市内小中学校のICT環境整備を行うことで、学校臨時休業中における学習環境整備を図る	R2.10	R3.3	5,425,640	5,425,640	・GIGAスクール端末借り上げ料(令和3年1月～3月分) 5,040,640円 ・アプリケーション操作研修に係る端末設定費用14台分 385,000円	新型コロナウイルス感染症の影響により前倒しとなった、全児童生徒タブレット端末整備に係る借り上げ料について、補助金を活用して遅滞なく整備を行った。また、GIGAスクール構想下で使用するアプリケーションについて、南河原中学校にて職員を集め、操作研修を行った。

No.	事業名	分類	事業の目的	事業始期	事業終期	事業費総額	交付金充当額	事業実績	事業の効果
30	小中学校修学旅行キャンセル料補填事業	②	感染症の影響で発生する修学旅行等のキャンセル料について、本来保護者が負担する経費を補助する	R2.4	R3.3	5,932,494	5,932,494	・中学校(8校)修学旅行分 5,328,716円 ・中学校(4校)林間学校分 603,778円。	修学旅行分で654人、林間学校分で411人の生徒保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
31	期日前投票所感染拡大防止対策事業	①	既存の期日前投票所の拡張工事を行い、選挙投票時における3密対策を行う	R2.9	R2.11	2,145,000	2,145,000	期日前投票所拡張工事に伴う基礎工事費 2,145,000円	令和3年10月に執行された衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票(10月20～30日)において、3密対策を考慮した投票環境が構築できた。
38	インフルエンザ予防接種助成	①	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時期に流行することによる学級(学校)閉鎖や医療逼迫を防ぐため、15歳以下の子どもとその保護者、及び妊婦を対象として、インフルエンザ予防接種に係る費用を助成する	R2.10	R3.3	8,529,991	8,529,991	・インフルエンザ予防接種費助成金(3505人分) 6,897,637円 ・会計年度任用職員報酬及び費用弁償 844,200円、費用弁償44,100円 ・事務費744,054円(郵便料733,362円、宛名ラベル10,692円)	事業対象者5362人(生後6か月から中学生までの子ども5212人+妊婦150人)のうち3505人(子ども3428人+妊婦77人)が接種後の費用助成申請を行った。対象者に対する申請者の割合は、子ども約66.5%、妊婦約51.3%であった。新型コロナ感染症予防対策による影響もあるが、季節性インフルエンザの流行が抑制された。
39	地域公共交通機関の高度化支援事業	④	キャッシュレス化の推進及び利便性向上のため、地域公共交通機関が行う高度化事業(ICカード導入事業)に対し、沿線自治体(5市3町)で組織する協議会において支援する	R3.3	R3.3	16,173,000	16,173,000	本市を含む沿線8市町で計135,000千円を支援	秩父鉄道秩父線の全駅(37駅・うち行田市内は4駅)にICカード読み取り機を設置し、令和4年3月12日から共用開始
40	市立小・中学校感染症対策事業	①	市内小中学校において、感染予防対策として文部科学省「学校の新しい生活様式」で規定する「換気の徹底」を行い、校内における3密を回避することで感染拡大を防止する	R2.4	R3.3	3,925,414	3,925,414	換気徹底により増額したエアコン代金(ガス料) 3,925,414円	市内小中学校における換気の徹底で、感染拡大の防止を図られた。
41	感染拡大防止に配慮した窓口環境整備事業	①	窓口カウンターに個別相談スペースや仕切りを設けた新たなカウンターを整備し、職員と来庁者、来庁者同士の飛沫感染対策強化を図る	R3.3	R3.3	1,273,580	1,273,144	・本庁舎収納課(現税務課)カウンター 1,273,580円	ソーシャルディスタンスに配慮したカウンター導入により、職員と来庁者、来庁者同士の感染症対策強化が図られた。
42	郷土博物館・忍城御三階櫓感染症対策事業	①	館内各所での換気ができるよう、網戸を設置する	R3.3	R3.4	337,700	337,000	網戸設置22箇所 337,700円	忍城御三階櫓の窓22箇所に網戸を設置した。窓を開けて換気を実施することにより、害虫等の侵入を防ぎつつ感染リスク低減が図られた。
43	救急活動感染防止対策強化事業	①	ニトリルグローブやN95マスクなど、消防活動に使用する感染防止資器材の充実を図り、感染防止対策を強化する	R3.3	R3.10	11,561,902	11,561,902	・アイソレーター用フィルタ60式 1,421,772円 ・ペイシエントシールド12式 411,840円 ・ニトリルグローブ(100枚入)×400箱 704,000円 ・オゾンガス発生機3式 726,000円 ・バリア機能付き防水ウエア(上下)110着 2,153,800円 ・リニューザブル型感染防止衣(上下)130着 3,660,800円 ・N95マスク×7,000枚 762,300円 ・ディスポーザブル型感染防止衣(上下)1,000着 1,298,000円 ・全身つなぎ型感染防止衣300着 394,350円 ・サージカルマスク6,000枚 29,040円	感染症流行禍の救急活動等において、消防職員の安全を確保することができた。
44	事業継続力強化計画(BCP)策定奨励金	③	市内商工団体が主催するBCP策定計画研修を受講し認定を受けた計画を策定した事業所に奨励金を交付することで、市内事業者の計画策定を促進し、コロナ禍における事業継続を支援する	R3.3	R4.3	9,917,568	9,917,568	・補助費 9,600,000円(100,000円×96件) ・講師謝金 300,000円 ・事務費 17,568円(郵送料・振込手数料等)	市内の中小企業者を対象に新型コロナウイルス感染症を含む災害等に備えた事業継続力強化計画策定の支援を行い、96事業者が経済産業大臣の認定を受けた。
45	施設予約システム導入事業	④	市の公共施設予約をオンライン化し、非訪問型の施設予約システムを整備することで、窓口の混雑緩和による感染拡大防止を図る	R3.3	R4.3	19,613,000	19,613,000	システム導入経費 18,854,000円	産業文化会館や商工センター、総合体育館などの市公共施設32施設において、来館することなく施設予約ができるシステムを導入した。
46	電子申請システム導入事業	④	市の各種申請手続きをオンライン化し、非来庁型の行政サービス提供体制を整備することで、窓口混雑を緩和による感染拡大防止を図る	R3.3	R4.3	3,850,000	3,850,000	電子収納システム導入経費 3,850,000円	料金決済機能は令和4年4月から供用開始予定
47	公共施設トイレ等自動水栓交換事業	①	不特定多数の市民等が利用する公共施設(産業文化会館・総合体育館・郷土博物館・忍城御三階櫓・コミュニティセンターみずしろ・児童センター・商工センター)のトイレ手洗い場の水栓を自動化することで、感染リスク低減を図る。	R3.3	R4.3	8,382,000	8,382,000	・児童センター13箇所 396,000円 ・商工センター21箇所 836,000円 ・総合体育館50箇所 3,630,000円 ・産業文化会館39箇所 2,387,000円 ・コミュニティセンターみずしろ17箇所 605,000円 ・郷土博物館6箇所、忍城御三階櫓2箇所 計528,000円	不特定多数の方が利用するトイレ等手洗い場の水栓を自動化することで、感染リスクの低減を図ることができた。
48	テレワーク等環境整備事業	④	市職員のテレワークや分散勤務、ウェブ会議等を可能とする環境を整備し、感染拡大防止を図る	R3.3	R3.3	8,796,700	8,796,700	・モバイルパソコン40台 8,796,700円	令和4年1月から運用開始以後、テレワークでは延べ7名10回の利用実績があった。また、ペーパーレス会議にも利用し、会議資料の削減にも寄与した。

No.	事業名	分類	事業の目的	事業始期	事業終期	事業費総額	交付金充当額	事業実績	事業の効果
49	証明書等コンビニ交付促進事業	④	住民票などの市が発行する証明書の手数料について、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付手数料を、窓口交付による手数料と比較して低廉に設定することで、コンビニ交付を促進し、窓口混雑緩和を図る	R3.3	R4.3	550,000	550,000	システム設定変更手数料 550,000円	コンビニ交付の普及促進により、交付枚数が事業実施前に比べ2.7倍に上昇し、窓口の混雑緩和に寄与した。

R2年度実施計画掲載事業(国庫補助金裏負担分)

No.	事業名	分類	事業の目的	事業始期	事業終期	事業費総額	交付金充当額	事業実績	事業の効果
32	子ども・子育て支援交付金	①	感染拡大防止を目的として、市が要請した学童保育室の通室自粛について、その自粛日数分の保育料を保護者に返還する	R2.4	R3.3	13,780,170	2,675,170	学童保育室保育料減免額(延べ3,514件分) 13,780,170円	4月～8月までの間で延べ3,514件分を減免し、保護者の経済的負担軽減が図られた。
33	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業)	①	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、消毒液やマスク等の保健衛生用品を購入し、児童・生徒が安心して学ぶことのできる環境を整備する	R2.6	R3.3	1,491,699	746,699	・消毒液(4ℓ)240本 821,040円 ・消毒液(1ℓ)83本 80,344円 ・マスク6,200枚 211,420円 ・フェイスシールド437個 120,175円 ・非接触型体温計24台 258,720円	市内全小中学校に対して配布することで、学校における感染拡大防止が図られた。
34	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業)	①	児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品を購入するとともに、児童生徒の学びの保証のため、遠隔授業等で必要となる機材等を整備する	R2.9	R3.3	50,718,751	25,359,751	・市内小中学校での感染症対策物品(マウスシールド、マスク、除菌用アルコール等)購入経費 16,467,281円 ・非接触型体温計配布115個 478,170円 ・分散教室用机椅子購入 机21脚 212,520円 ・ " 椅子24脚 203,280円 ・液晶ディスプレイ(無線HDMI付き)207台 26,364,800円 ・Webカメラ64台 176,000円 ・レバー式水道蛇口の設置1,488箇所 3,682,800円 ・換気用網戸の設置350箇所 3,133,900円	各小中学校において、アルコール等感染症対策用物品を充実させ、学校における感染症対策環境を整えた。また、ICT機器を充実させたことにより、緊急事態宣言下におけるオンライン授業を可能とした。
35	母子保健衛生費補助金	④	感染予防のため、対面で行っている保健指導や個別相談などの母子保健事業を、オンラインで実施するための機器等を整備する	R2.10	R3.3	238,700	119,700	・パソコン及びルーター各1台 192,500円 ・光回線工事費 37,400円 ・オンライン用ヘッドセット1式 6,600円 ・光回線新規契約手数料 2,200円	令和3年度に3件の幼児の育児相談で活用した。今後も感染症対策のツールとして活用する。
36	公立学校情報機器整備費補助金(学校からの遠隔学習機能の強化事業)	④	市内小中学校にてWEBカメラを購入し、オンライン会議の促進を図る	R2.12	R3.3	475,200	238,200	教職員オンライン会議用のWebカメラ先行導入 小学校96台 316,800円 中学校48台 158,400円	新型コロナウイルス感染症まん延初期において、Webカメラを先行導入し、小中学校における教職員のオンライン会議
37	障害者総合支援事業費補助金	②	感染拡大に伴い増加した通所代替サービス利用の自己負担増加分及び臨時休業に伴う自己負担増加分を補助する	R2.4	R2.6	77,375	19,000	8事業所への交付額 77,375円	特別支援学校等の臨時休業の影響により、放課後等デイサービスの利用に伴い、利用者負担の増加に対する補助を実施することで、家計負担の軽減を図ることができた。